


エコアクション21  
環境経営レポート  
2022年度

(対象期間 2022年7月1日~2023年6月30日)



 呉光塗装株式会社

2023年8月29日 発行

  
エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号0012855

  
チーバくん  
ちばSDGs  
ちばSDGs/パートナー 576号

## 目 次

1. 環境経営方針	P 2
2. 組織概要	P 3
3. 実施体制	P 4
4. 環境経営目標及び実績	P 5
5. 環境経営目標と主な取組み状況と評価	P 5
6. 環境活動計画の内容と取組み結果の評価 及び次年度の取組み内容	P 6
7. 環境負荷の実績	P 7
8. 活動報告	P 8
9. 環境経営目標と環境経営計画	P 9
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	P10
11. 代表者による評価と見直し	P10

# 1. 環境経営方針

## 環境経営方針

### 基本理念

呉光塗装株式会社は、官庁・民間企業及び住宅の建物施設・設備の改修工事業の事業活動を行って参りました。

これまで多くの住宅・庁舎施設の改修や橋梁等の塗替えを行ってきたノウハウを活かし、今後も循環型社会構築に向け積極的に取り組んで参ります。

その中で、更なる課題として環境改善・地球温暖化防止の重要性を認識し、日々の事業活動を通じ地域の環境保全と安心・安全の街作りへの取り組みに寄与するよう努めます。

その取り組みの一つとして、当社はエコアクション21環境システムを導入し、環境に優しい工事を推進し、お客様・発注者からの更なる信頼の確保と経営の安定を目指します。

### 環境経営活動 基本方針

基本理念のもとに関係法令を遵守し、次に掲げる項目を自主的、且つ積極的に取り組むとともに、定期的に見直し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

- 1)事業所の全従業員に周知し、環境マネジメントシステムの理解と定着化を図ります。
- 2)協力会社に対して環境マネジメントシステムについての啓蒙啓発活動を行います。
- 3)事務所におけるエコオフィス活動を推進します。
  - ① 事務所を適正に管理し、電気・水道等の使用量の節減に努めます。
  - ② 廃棄物の分別を徹底し、排出抑制と資源化に努めます。
  - ③ 使用車両のエコドライブに努めます。
- 4)改修工事においては次の環境活動を実施します。
  - ① 現場における公害対策等に万全を期します。
  - ② 現場における建設副産物の分別を徹底し、資源化の推進と廃棄物の削減に努めます。
  - ③ 省エネと環境に配慮した改修工事を発注者へ提案します。
  - ④ 使用車両のエコドライブと、環境配慮型建設機械の使用に努めます。
  - ⑤ 現場の整理・整頓・清掃に努めます。
- 5)地域社会貢献活動に積極的に参加します。
- 6)環境経営レポートは一般に公開します。

制 定： 2018年 7月30日

改 訂： 2021年11月 6日

呉光塗装株式会社

代表取締役 奥野 眞一

## 2. 組織概要

### 1)事業所名及び代表者名

呉光塗装株式会社  
代表取締役 奥野 眞一

### 2)所在地

本 社                   〒271-0054 千葉県松戸市中根長津町25  
TEL:047-365-1531 FAX:047-365-4221

東京支店               〒125-0042 東京都葛飾区金町1-19-13-203  
TEL:03-6231-3537 FAX:03-6231-3538

資材センター       (第1センター)〒271-0043 千葉県松戸市旭町2-278  
(第2センター)〒271-0043 千葉県松戸市旭町1-201

### 3)環境管理責任者氏名

取締役 奥野 仁識           T E L : 047-365-1531  
取締役 西尾 弘美子       E-mail : ea21@gokou-tosou.co.jp

### 4)事業内容

住宅・庁舎等の改修工事、橋梁・鋼構造物等塗装工事、他  
許可番号:国土交通大臣許可(特-4)第014531号  
許可業種:建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工事業、  
石工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、  
鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工事業、ガラス工事業、  
塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、  
建具工事業、解体工事業

### 5)事業規模   資本金 100,000,000円

事業規模	単 位	2020年度	2021年度	2022年度
年間売上高	千円	3,312,067	4,034,125	5,158,717
工 事 件 数	件	19	12	25
従 業 員 数	人	56	59	71
延 床 面 積	m <sup>2</sup>	538	538	538

※工事件数は5百万円以上

### 6)事業年度   7月～6月

### 7)認証・登録範囲

認証:エコアクション21 (2019年8月6日認証取得)

登録番号:0012855

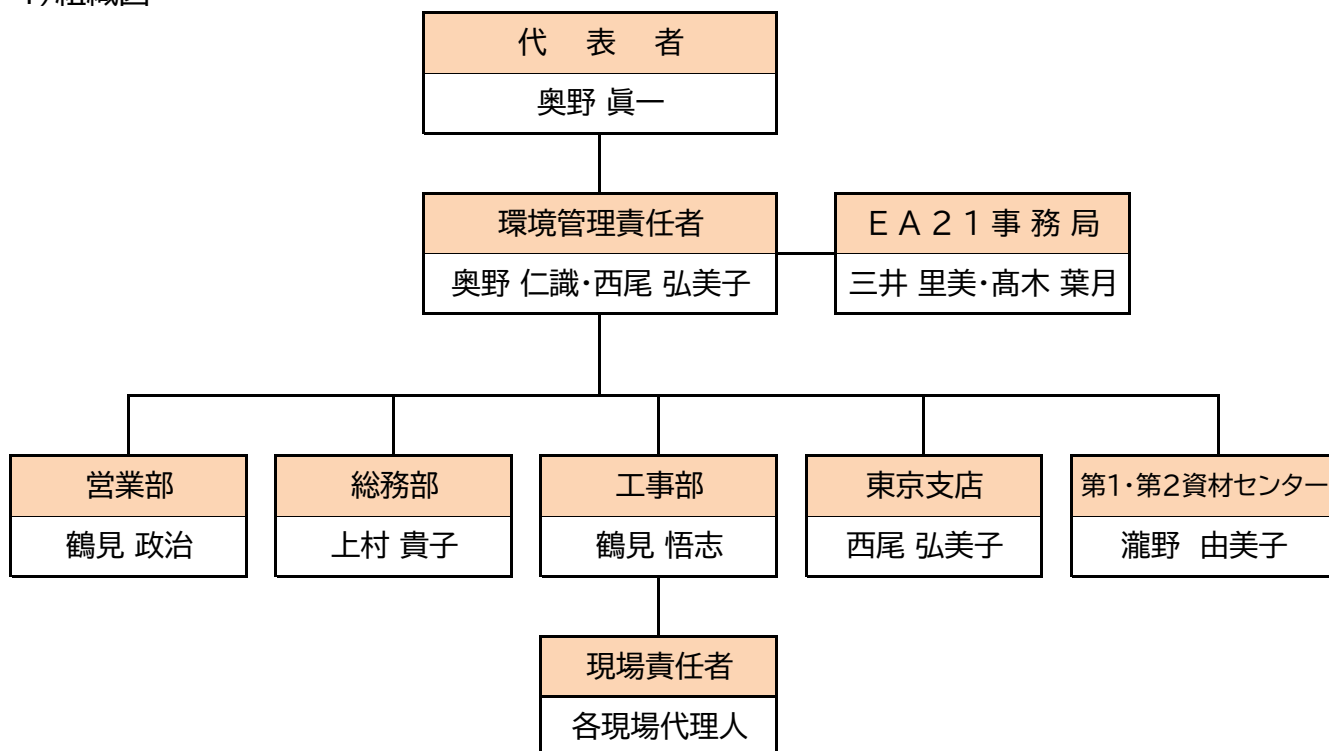
対象事業所:本社、東京支店、第1資材センター、第2資材センター  
事業活動:住宅・庁舎等の改修工事、橋梁・鋼構造物等塗装工事、他

登録:ちばSDGsパートナー登録制度 (2022年3月23日登録)

登録番号:576

### 3. 実施体制

#### 1) 組織図



#### 2) 役割分担表

役割	氏名	実施事項
代表者	奥野 眞一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の総括</li> <li>・環境経営方針の策定及び環境管理責任者の任命</li> <li>・経営における課題とチャンスを整理し明確にする</li> <li>・取組みに必要な資源の準備</li> <li>・全体の評価と見直し</li> </ul>
環境管理責任者	奥野 仁識 西尾 弘美子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築・実施・管理</li> <li>・代表者への報告</li> </ul>
EA21事務局	三井 里美 高木 葉月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営活動の推進</li> <li>・環境活動計画の周知</li> <li>・文書及び記録の集計・管理</li> <li>・環境経営レポート作成</li> </ul>
全従業員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と取組みへの重要性の自覚</li> <li>・環境活動への自主的・積極的な取組み</li> <li>・廃棄物分別の徹底</li> <li>・各現場での環境活動計画の実施及び報告</li> </ul>

当社は全組織・全活動を対象範囲としています。

## 4. 環境経営目標とその実績

### 1) 環境経営目標の策定

当社は、本社、支店、資材センター、工事部の各部門からなり、それぞれの業務内容は大きく異なります。このため、環境負荷と環境への取組みをそれぞれの部門ごとに把握し、それぞれの環境への影響が高い項目を主たる目標とし数値を定めました。

### 2) 2020年度の実績(基準年)と2021年度・2022年度・2023年度の目標および実績等

環境経営目標項目	2020年度実績 (基準値)	2021年度				2022年度				2023年度				
		目標値	実績値	目標値比	達成	目標値	実績値	目標値比	達成	目標値	実績値	目標値比	達成	
全社 二酸化炭素の削減	kg 151,265	150,034	180,582	120.4 %	×	148,803	165,403	111.2 %	×	147,571				
本社・支店・資材センター	電力の節減(本社)	kWh 39,752	39,553	39,658	100.3 %	×	39,354	39,634	100.7 %	×	39,156			
	電力の節減(東京支店)	kWh 448	444	437	98.5 %	○	439	478	108.9 %	×	435			
	電力の節減(資材センター)	kWh 3,883	3,844	3,048	79.3 %	○	3,805	3,462	91.0 %	○	3,767			
	ガソリンの節減(営業車)	ℓ 6,131	6,070	6,059	99.8 %	○	6,008	5,686	94.6 %	○	5,947			
	軽油の節減(営業車)	ℓ 1,845	1,827	1,736	95.0 %	○	1,808	2,529	139.9 %	×	1,790			
	水資源の節減	m <sup>3</sup> 683	維持	668	-		維持	590	-		維持			
	事務所廃棄物の削減	kg 1,010	維持	870	-		維持	1,090	-		維持			
	紙使用量の節減	枚 461,060	456,449	434,240	95.1 %	○	451,839	378,742	83.8 %	○	447,228			
	地域環境保全活動	回 1	必要の都度	1	-		必要の都度	1	-		必要の都度			
	環境に配慮した計画・設計の提案	件 51	全件提案	37	-		全件提案	49	-		全件提案			
現場	電力の節減(現場)	kWh 80,172	79,771	109,481	137.2 %	×	79,370	102,876	129.6 %	×	78,969			
	ガソリンの節減(現場車両)	ℓ 25,951	25,692	29,788	115.9 %	×	25,432	26,775	105.3 %	×	25,173			
	ガソリンの節減(運搬車)	ℓ 2,536	2,510	1,992	79.3 %	○	2,485	2,660	107.1 %	×	2,460			
	軽油の節減(運搬車)	ℓ 1,717	1,699	1,656	97.5 %	○	1,682	2,228	132.4 %	×	1,665			
	ガソリンの節減(発電機)	ℓ 357	維持	396	-		維持	377	-		維持			
	軽油の節減(発電機)	ℓ 1,466	維持	5,142	-		維持	1,478	-		維持			
	資材の適正管理(塗料・防水材など)	件 20	全件実施	13	-		全件実施	20	-		全件実施			
	環境配慮工事の実施	件 20	全件実施	13	-		全件実施	20	-		全件実施			
	建設リサイクルの推進	件 20	全件実施	13	-		全件実施	20	-		全件実施			

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は、2021年1月7日環境省発表/2019年度の東京電力エナジーパートナー調整後排出係数は(参考値)事業者全体の(0.455kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を適用

## 5. 環境経営目標と主な取組み状況と評価

### 1) 本社・支店・資材センター

電気使用量については、活動内容の徹底により前年とほぼ横ばいの結果となった。燃料の削減目標は稼働する車種によって達成と未達の差が出てしまったが、エコドライブなどの取組みは徹底できている。コロナも収まってきており、ボランティア活動に参加するなど活動に努めている。

### 2) 現場

多数の大型現場施工や感染症対策による電気使用量の増加により未達となったが、各活動内容は徹底している。運搬車などの車両燃料は、遠方の現場が多く走行距離が延びた為未達となったが、活動内容を徹底するよう指導している。発電機は昨年度、現場環境により著しく達成できなかったが今年度は平年並みの実績となった。引き続き、低騒音や低振動の機種を選定し環境負荷の低減に努める。



## 6. 主な環境活動計画の内容と取組み結果の評価及び次年度の取組み内容

環境活動の計画においても、事務所、支店などの各部門別に計画を立案し実行した結果及び評価は次の通りです。

	項目	環境経営活動	評価	次年度の活動
本社・支店・資材センター	電力の節減 /本社	①室温/冷房28℃以上、暖房20℃以下 ②照明の小まめなON・OFF ③OA機器は省エネモードと不使用時OFF	熱中症対策や、B棟増員による暖房器具の設置等で、未達となった	・活動内容の継続 ・B棟2階の窓に遮熱フィルムを貼る
	電力の節減 /東京支店	①室温/冷房28℃以上、暖房20℃以下 ②照明の小まめなON・OFF ③OA機器は省エネモードと不使用時OFF	清掃の強化等で使用量が増えた為、未達となった	引き続き活動内容の徹底を行う
	電力の節減 /資材センター	①室温/冷房28℃以上、暖房20℃以下 ②照明の小まめなON・OFF ③OA機器は省エネモードと不使用時OFF	活動内容を徹底し、目標を達成できた	継続
	ガソリンの節減 /営業車	①急停車・急発進の抑制 ②ふんわりアクセルの実施 ③アイドリングストップの実施	各自エコドライブを意識し、目標を達成できた	継続
	軽油の節減 /営業車	①急停車・急発進の抑制 ②ふんわりアクセルの実施 ③アイドリングストップの実施	現場応援の為、使用頻度が増加した為、未達となった	引き続きエコドライブに努め、継続する
	水資源の節減	①「節水」の掲示 ②雨水の優先利用	活動内容を徹底し、目標を達成できた	継続
	事務所廃棄物の節減	①新聞・雑誌・段ボール等のリサイクル ②ビン・缶・ペットボトルのリサイクル	分別を行い、廃棄物削減に努めた	継続
	紙使用量の節減	①両面コピーの利用 ②裏紙の利用 ③電子情報の活用	活動内容を徹底し、目標を達成できた	継続
	地域社会貢献活動	①事務所周辺の清掃活動 ②塗装組合・地域主催の清掃活動への参加	千葉県塗装工業会のボランティアに参加した	継続
	環境に配慮した計画・設計の提案	①計画・設計の提案 ②顧客への説明	月によりばらつきがあるが、トータルで目標値と同程度の提案ができた	継続
現場	電力の節減 /現場	①室温/冷房28℃以上、暖房20℃以下 ②照明の小まめなON・OFF ③OA機器は省エネモードと不使用時OFF	大型現場多数同時施工の影響や、熱中症対策の実施により未達となった	引き続き活動内容の徹底を行う
	ガソリンの節減 /現場車両	①急停車・急発進の抑制 ②ふんわりアクセルの実施 ③アイドリングストップの実施	遠方の現場が増えたため、使用量が増加し、未達となった	・活動内容を継続 ・古い車両の入れ替え
	ガソリンの節減 /運搬車	①急停車・急発進の抑制 ②ふんわりアクセルの実施 ③アイドリングストップの実施	遠方の現場が増えたため、使用量が増加し、未達となった	引き続きエコドライブに努め、継続する
	軽油の節減 /運搬車	①運搬コースの短縮化 ②積込み時のアイドリングストップの実施 ③渋滞回避ルートの走行	遠方の現場が増えたため、使用量が増加し、未達となった	引き続きエコドライブに努め、継続する
	ガソリンの節減 /発電機	①アイドリングストップの推進 ③点検整備の推進	各現場、活動内容を徹底している	継続
	軽油の節減 /発電機	①アイドリングストップの推進 ③点検整備の推進	各現場、活動内容を徹底している	継続
	資材の適正管理 (塗料・防水材など)	①空缶検査の徹底 ②残材の適正処分 ③化学物質使用量の把握	活動内容を徹底し、目標を達成できた	継続
	環境配慮工事の実施	①関係住民への説明 ②ケレン屑の適正処理・処分 ③低公害型重機の使用 ④防音型の工具の使用	各現場工夫をこらし、目標を達成できた	継続
	建設リサイクルの推進	①13分別の徹底 ②仮設材などの再利用の推進 ③建設廃材の再資源化の推進	分別の徹底を図り、目標を達成できた	継続

# 7. 環境負荷の実績

2020年度(基準年)と、2021年度・2022年度・2023年度の各1年間の環境負荷の実績は次の通りです。

項目と単位		2020年度 (基準年)	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量		kg-CO <sub>2</sub>	151,265.47	180,581.77	165,403.48
エネルギー 使用量	購入電力	kWh	44,083.00	43,143.00	43,574.00
	建設現場等の購入電力	kWh	80,172.00	109,481.00	102,876.00
	ガソリン	ℓ	6,131.03	6,059.08	5,686.42
	建設現場等のガソリン	ℓ	28,843.83	32,175.71	29,812.74
	軽油	ℓ	1,845.31	1,735.96	2,529.49
	建設現場等の軽油	ℓ	3,182.64	6,797.87	3,705.52
	建設現場等の灯油	ℓ	36.00		
	都市ガス	ℓ	21.00	16.00	9.00
	液化石油ガス(LPG)	kg	160.22	127.10	101.64
一般廃棄物総排出量		kg	1,010.00	870.00	1,090.00
産業廃棄物総排出量		kg	814,009.60	2,697,579.00	2,619,665.00
	中間処理量	kg	814,009.60	2,697,579.00	2,604,665.00
	うち再生資源化量	kg	802,421.40	2,684,371.00	2,555,255.00
	最終処分(埋立)量	kg	11,588.20	13,208.00	49,410.00
	再資源化率	%	98.58	99.51	97.54
産業廃棄物(特別管理)総排出量		kg	22,592.00	6,621.00	70,835.00
	中間処理	kg			
	うち再生資源化量	kg			
	最終処分(埋立)量	kg	22,592.00	6,621.00	70,835.00
	再資源化率	%			
水使用量		m <sup>3</sup>	683.00	668.00	590.00
化学物質 使用量	3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキシル =イソシアネート	kg	203.68	260.84	201.20
	ビスフェノールA	kg			2.48
	2-エチルヘキサノ酸	kg	0.49	0.49	
	エチルベンゼン	kg	270.37	614.35	748.82
	キシレン	kg	587.20	758.18	1,010.04
	クメン	kg	21.40	40.71	30.38
	クロム及び三価クロム化合物	kg	114.24	277.20	170.58
	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	kg	24.27	95.98	125.36
	ジクロロメタン	kg	26.89	13.44	72.91
	N,N-ジメチルホルムアミド	kg			0.13
	スチレン	kg	0.18	4.41	11.56
	トリエチレンテトラミン	kg	0.25	0.01	
	1,2,4-トリメチルベンゼン	kg	1,476.06	2,979.59	2,284.84
	1,3,5-トリメチルベンゼン	kg	541.06	1,041.17	922.07
	トリレンジイソシアネート	kg	36.58	42.57	68.32
	トルエン	kg	5,156.59	9,724.63	9,498.85
	ナフタレン	kg	0.19		0.38
	ノニルフェノール	kg	0.13		
	フェノール	kg		0.20	0.40
	フタル酸ジ-ノルマル-ブチル	kg	5.88	70.31	141.25
	フタル酸ビス	kg	1.78	4.35	2.14
	4-ターシャリ-ブチルフェノール	kg	0.24	1.08	0.26
	ふっ化水素及びその水溶性塩	kg			1.92
	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	kg			
	ほう素化合物	kg			0.09
	ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	kg	26.10	20.58	26.29
	マンガン及びその化合物	kg		2.00	
	メタクリル酸2-エチルヘキシル	kg			
	メタクリル酸メチル	kg	0.79		4.09
	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	kg	14.81	2.60	114.34
	エチレンジグリコールモノメチルエーテル	kg			
	アクリル酸ノルマル-ブチル	kg			0.10
	ポリオキシエチレンアルキルエーテル	kg	2.97		1.17
	フタル酸ノルマル-ブチル=ベンジル	kg			
	鉛化合物	kg		0.95	2.58
	酢酸2-エトキシエチル	kg		13.50	14.85
	メチルナフタレン	kg			0.74
	コバルト及びその化合物	kg			
	メタクリル酸2,3-エポキシプロピル	kg			
	有機スズ化合物	kg			1.10
	アンチモン及びその化合物	kg			1.38
	ノルマル-ヘキサン	kg	0.82	10.74	10.30
	ノルマル-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル	kg			
	2-アミノエタノール	kg	0.10		0.20
	エチレンジグリコールモノエチルエーテル	kg	0.06	19.90	5.43
	トリエチルアミン	kg			
	1-メチル-1-フェニルエチル=ヒドロペルオキシド	kg		0.03	
	テトラヒドロメチル無水フタル酸	kg	5.28	1.68	14.64
	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	kg		0.02	0.14
	3,6,9-トリアザウンデカン-1,11-ジアミン	kg			0.72
	メタクリル酸	kg			0.27
	アルカン-1-アミン(アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が8、10、12、14、16又は18のもの及びその混合物に限る。)、(Z)-オクタデカ-9-エン-1-アミン及び(9Z, 12Z)-オクタデカ-9, 12-ジエン-1-アミン並びにこれらの混合物	kg			1.50
	アルファー(イソシアナトベンジル)-オメガ(イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン]	kg			0.17
	エチレンジグリコールモノブチルエーテル	kg			1.94
	ジエチレンジグリコールモノブチルエーテル	kg			12.71
ドデカン-1-チオール	kg			0.36	
トリメチルベンゼン	kg			38.94	
トリメトキシ-[3-(オキシラン-2-イルメトキシ)プロピル]シラン	kg			1.34	
2-ターシャリ-ブチルエタノール	kg			13.65	
メチルイソブチルケトン	kg			6.46	
N-メチル-2-ピロリドン	kg			1.28	

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は、2021年1月7日環境省発表/2019年度の東京電力エナジーパートナー調整後排出係数は(参考値)事業者全体の(0.455kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を適用



## 8. 活動報告

<p>電気使用量削減</p>	<p>水資源の削減</p>
	
<p>グリーンカーテンの設置</p>	<p>雨水タンクの活用</p>
<p>建設リサイクルの推進</p>	
	
<p>掲示による分別徹底の周知</p>	<p>掲示による分別の促進</p>
<p>千葉県塗装工業会主催ボランティア参加</p>	<p>資材センター周辺の清掃活動</p>
	
<p>柏市西町第二公園遊具の塗装</p>	<p>除草作業とゴミ拾い</p>

## 9. 環境経営目標と環境経営計画(2021～2023年度の中期環境経営目標)

基準年を2020年とした今後3カ年の節減率の中期環境経営目標は次の通りです。

	目標項目	基準年実績 (2020年度)	単位	2021年度		2022年度		2023年度	
				削減等%	目標値	削減等%	目標値	削減等%	目標値
全社	二酸化炭素の削減 ※	151,265	kg	削減率0.8%	150,034	削減率1.6%	148,803	削減率2.4%	147,571
本社・支店・ 資材センター	電力の節減(本社)	39,752	kWh	節減率0.5%	39,553	節減率1.0%	39,354	節減率1.5%	39,156
	電力の節減(東京支店)	448	kWh	節減率1.0%	444	節減率2.0%	439	節減率3.0%	435
	電力の節減(資材センター)	3,883	kWh	節減率1.0%	3,844	節減率2.0%	3,805	節減率3.0%	3,767
	ガソリンの節減(営業車)	6,131	ℓ	節減率1.0%	6,070	節減率2.0%	6,008	節減率3.0%	5,947
	軽油の節減(営業車)	1,845	ℓ	節減率1.0%	1,827	節減率2.0%	1,808	節減率3.0%	1,790
	水資源の節減	683	m <sup>3</sup>	維持	683	維持	683	維持	683
	事務所廃棄物の削減	1,010	kg	維持	1,010	維持	1,010	維持	1,010
	紙使用量の節減	461,060	枚	節減率1.0%	456,449	節減率2.0%	451,839	節減率3.0%	447,228
	地域社会貢献活動	1	回	-	必要の都度	-	必要の都度	-	必要の都度
	環境に配慮した計画・設計の提案	51	件	-	全件提案	-	全件提案	-	全件提案
現場	電力の節減(現場)	80,172	kWh	節減率0.5%	79,771	節減率1.0%	79,370	節減率1.5%	78,969
	ガソリンの節減(現場車両)	25,951	ℓ	節減率1.0%	25,692	節減率2.0%	25,432	節減率3.0%	25,173
	ガソリンの節減(運搬車)	2,536	ℓ	節減率1.0%	2,510	節減率2.0%	2,485	節減率3.0%	2,460
	軽油の節減(運搬車)	1,717	ℓ	節減率1.0%	1,699	節減率2.0%	1,682	節減率3.0%	1,665
	ガソリンの節減(発電機)	357	ℓ	維持	357	維持	357	維持	357
	軽油の節減(発電機)	1,466	ℓ	維持	1,466	維持	1,466	維持	1,466
	資材の適正管理(塗料・防水材など)	20	件	-	全件実施	-	全件実施	-	全件実施
	環境配慮工事の実施	20	件	-	全件実施	-	全件実施	-	全件実施
	建設リサイクルの推進	20	件	-	全件実施	-	全件実施	-	全件実施

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は、2021年1月7日環境省発表／2019年度の東京電力エナジーパートナー調整後排出係数は(参考値)事業者全体の(0.455kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を適用

## 10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1) 関連する法規制等は次の通りです。

建設業法	ダイオキシン類対策特別措置法
建設リサイクル法	消防法
廃棄物処理法	浄化槽法
水質汚濁防止法	道路交通法
労働安全衛生法	道路運送車両法
フロン排出抑制法	自動車NOX・PM法
騒音規制法	家電リサイクル法
振動規制法	小型家電リサイクル法
悪臭防止法	グリーン購入法
大気汚染防止法	化管法
自動車リサイクル法	

2) 2023年8月2日に遵守確認を行った結果、環境関連法規への違反・訴訟などはありません。  
なお、関係当局よりの違反などの指摘は過去3年間ありません。

## 11. 代表者による評価と見直し

目標設定及びその呼びかけ・啓発ポスターの掲示等により、環境配慮の意識が高まり、不要エネルギーの削減へとつながった。  
近年猛暑日が多く、熱中症の危険が大変高まっている為、安全対策を第一と考えてから、各取り組みを継続していく。

①電気・燃料の使用量は現場状況によって変動するが、一部項目を除いて前期に比べ著しい増加はなく、環境配慮の取り組みが継続できた。今後も削減ができないことを悩むより削減可能な取り組みを積極的に行っていく。

②電気量は夏場にピークになる為、エアコンの適切な温度管理や省電力な家電を併用し、各現場で実施可能な工夫で電気使用量低減を継続していく。

③石綿の事前調査報告は、対象となる全現場で滞りなく適正に実施できている。  
開始されたばかりなので引き続き運用を継続していく。  
また、PRTR制度において大幅に化学物質の指定が変更された為、引き続き正しい知識をもって取り扱えるよう、教育や必要な資格取得に力を入れる。

④エコキャップや使用済み切手の回収活動、清掃ボランティア活動において多くの協力が得られたので、引き続き継続していく。

エコアクション21活動は、全員参加が重要なので、今後も各事務所各現場および協力会社を巻き込み、地道で有用な活動を継続していく。

次回の環境経営レポートは2024年 9月頃に作成する。

2023年8月29日

呉光塗装株式会社

代表取締役 奥野 眞一